

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

- 本日
来賓卓話
「オートキャンプフェスティバル」
実行委員長 宮下 泰裕様
 - 次週予定
来賓卓話
海上保安部長 山本 祐二様
- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 会員誕生日 5月11日 中川 勝美 | 結婚記念日 5月11日 松村 孝二 |
| 配偶者誕生日 5月10日 行徳智歌子 | 特別慶祝(古稀) 5月11日 中川 勝美 |

No. 2555
第39回 4月24日
No. 2556
第40回 5月8日

出席報告

前例会

| | |
|--------|--------|
| 会員総数 | 42名 |
| 出免会員 | 9名 |
| 出免出席 | 5名 |
| 基準会員出席 | 25名 |
| 出席率 | 75.00% |

前々会

| | |
|------------|--------|
| 第37回 4月10日 | |
| 欠席会員 | 13名 |
| 内メイクアップ | 6名 |
| 修正出席率 | 82.05% |

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告

1. 本日12時より臨時理事会を開催し、会員研修会より提案のありました情報集会開催の件を承認しました。後ほど委員会より報告がございます。
2. 4月14日に岩見沢市において地区協議会が開催され、次年度会長と共に出席してまいりました。IMにて講演をしていただき、岩城パストガバナーと細川ガバナーにお会いし、ご挨拶をしてきました。
3. 次週例会は夜間例会です。会場は海のふろさと館ですので、お忘れなく。

👤 幹事報告

- ・ハイライトよねやま157号を受領しました。
- ・第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会の案内を受領しました。

ゲスト

JR北海道 留萌駅長 長能 博明様

👥 委員会報告

会員研修委員会 高田副委員長
情報集会開催のご案内をいたします。テーマは「効果の上がる会員増強」です。

本年度会員増強委員会は、「活動方針として会員増強はクラブ活性化の原点と考えよう。クラブ会員の英知を新会員の増強に集中しよ

う。」を掲げ、会員増強に鋭意努力してまいりました。毎年度心当たりを勧誘するが、なかなか成果は上がらない。過去クラブ会員が100人を超える年度は長く続いたが、近年は減少の一途をたどっています。会員が少ないから十分な予算組みが出来ず、奉仕活動も削減している。よって、地域社会から当クラブの存在が薄れていきます。なぜ会員増強が思うように実現出来ないのか、その原因は単に人口減少や経済不況だけなのか、世間では魅力のある所に人は集まっています。もし、留萌ロータリークラブの体質に問題があるのであるとすれば、早めにその問題点に気付いて改善する必要があります。

今回の情報集会は、「効果の上がる会員増強」について行なうが、増強に関連があればクラブの体質改善について検討も期待します。また、推薦できる心当たりのある場合は氏名は発表せず、人数程度に留めておき、氏名は会長に紙面をもって提示し、次年度に引き継ぎをします。

各班の情報集会は任意に行い、6月5日の例会にて発表をお願いします。なお、研修委員会より予算の中から、各班に5,000円の補助金を支給します。活発な意見交換をお願いします。



ニコニコBOX

- ・この度は私の母の葬儀にご供花、ご香典をいただきありがとうございました 原谷会員

前 回 567,200円

今 回 10,000円

累 計 577,200円



プログラム

「留萌線の歩み」

J R北海道 留萌駅長 長能 博明様
私は昭和29年4月29日生まれの59歳です。天塩町の振老で生まれ3歳まで過ごし、幌成・丸松・遠別に中学2年まで、その後、幌加内に住み、高校は深川でした。

国鉄に入社して最初の赴任地は上越駅で、上

越と言っても旅客駅ではないので皆さんにはあまり馴染みが無いと思いますが、上川付近でありまして、上川から遠軽に向けて山のでっぺんの熊しか出ない所でした。仕事は雪はねばかりしていた記憶がございます。その後、22歳から26歳までの青春時代は峠下駅に勤め、何度か留萌に飲みに来た記憶がございます。峠下の後は旭川鉄道公安室に鉄道公安官として勤務し、当時テレビでも鉄道公安官のドラマもはやっておりまして、J R職員としては少し変わった経歴でございました。

国鉄からJ Rに変わった時に、車掌として旭川支社に入り、留萌線にも乗務いたしました。当時は増毛高校の通学生が200人位おり、車両は2両の時、3両の時もあり、大変賑やかでございました。現在は10人も乗ればの状態ですので、昔が大変懐かしく思います。後でパワーポイントにて説明する時にもお話ししますが、留萌線が雪害で有名になり、災害が起きても影響人員が15日間で1,000人という状態です。函館本線の特急スーパーカミイの1編成～2編成が運休になった時の影響しか無いという淋しい状況を感じております。

J R時代は旭川駅から始まり、美瑛駅・深川駅・北見駅・上川駅、そして現在、留萌駅と勤務いたしました。今年で59歳になります。ここが最後の勤務地となると思いますので、留萌の海産物を一生懸命食べて地産地消に努めている所でございます。それでは、本題の留萌線の歩みのお話をいたします。

留萌線は明治43年11月23日に開通いたしました。明治40年2月に着工し、3年半かかって駅舎ができ、線路が出来ました。深川駅が出来たのが明治31年ですから、12年後に留萌線が開通いたしました。留萌線開通の一番列車はS Lで、D51とかではなくて、当時は5200形式とか7700形式というように数字で表していたようです。開通日の前に稟告とって、(申し上げるの意)が出され、開通日には各家、国旗並びに軒提灯を掲げる事とか、当日は花火が3発上がりますよとか、町民は礼服を着て駅に揃って一斉に万歳をする事、そしてこの稟告には後の方に、23

日10時には花火の合図により有志一同、南大通りに集合し、旗行列で駅まで行き、12時40分着の乗客を歓迎してから、市内を練り回る事と書いてあります。当時は1日2往復しており、午前6時40分留萌発と午後1時発で、到着が午後0時30分と午後9時27分と書いてあります。

昭和14年から列車はD61が導入され、石炭を運んでいましたが、D51よりもずっと馬力があり、石炭車両を何十両も引っ張っておりました。増毛まで鉄道が延伸になったのは大正に入ってからで、その後幌延まで鉄道が延伸され、昭和33年に全通しております。そして、30年経ったか経たないかで廃止となった歴史がございます。

昭和42年に現在の駅舎の地鎮祭が行なわれ、二代目駅舎となりました。この駅舎は半年で建ち上がったようです。昭和62年3月29日に羽幌線が廃止になりましたが、当時は駅舎前の線路は20本以上あり、現在は3本の線路が残っているだけでございます。ホームは1番と2番ホームが使用されておりますが、2番ホームは2回位しか使用しません。殆どが1番ホームで乗り降りがされています。これで留萌線の歴史の話は終わりですが、この後は少し宣伝をさせていただきます。

今年はノロッコ号が7日間走ります。4月27日から29日までと5月3日から6日までです。

ノロッコ号はここ数年飽きられてきたのか、乗車人員が減ってきていますが、このパーベキュー列車だけは徐々に増えてきています。留萌から増毛までの間に、海を見ながらのパーベキューを楽しんでもらう企画で、電気プレートですが増毛の海鮮を楽しんでもらうものです。団体参加限定ですが、2名様より申し込み可能です。募集人員は各日40名です。

次にお座敷列車ですが、これは大変人気があり、座る事も、また掘りごたつにもでき、カラオケや冷蔵庫・電子レンジ・ポットまでもついているので大変快適でございます。この列車はどこでも引っ張りだこですので、まだ確定してはいませんが、留萌駅ではお座敷列車による知床の旅を企画しています。9月14日出発の予定



で考えておりますが、お座敷列車が押さえられたら旅の企画を売り出します。その時はぜひご利用ください。

留萌線を走っている列車は、現在キハ54型という気動車です。しょぼく見えますがエンジンが大変凄く、昔、急行天北や快速北見に使われていたものです。これが留萌線に回ってきています。これは雪害があつて乗り越えられない時がありますので、普通はキハ40型で緑っぱい車輛ですが、その2輛よりもこのキハ54型1輛の方が強く、速い車輛です。ですから留萌-深川間を1時間以内で走っています。普通のローカル列車であれば、1時間10分~15分かかっています。

現在、留萌駅では日本ハム選手の観光大使2人の等身大のパネルが皆様を出迎えますが、その横に“サラタオル”が飾ってあります。その下に新聞記事を貼っています。私は前任地が上川町でございましたので、ジャンプの高梨選手を応援しておりました。町民みんながこのタオルを1枚600円で買って協力しております。留萌市は女子ジャンプの渡瀬監督の出身地でもありますので、上川町から留萌へ来る時に持ってまいりました。

また、今年転勤してしまいましたが、竹谷振興局長さんが会長を務めていたバルーンアートも、皆さんをお出迎えいたしておりました。このバルーンアートは本当は1月の2~3日に完成する予定でございましたが、皆さんもご存知の通り、大雪のため完成が1週間ほど遅れ、また完成しても大雪のため列車が運休してしまっていたので、一番良い時にお客様に見ていただく事

第38回 4月17日(水) 天候/曇

が出来ませんでした。また、来年もリベンジのつもりで飾りたいと言っておりましたので、来年の正月を期待してください。

最後に今年の雪害についてお話をいたします。深川方面は1月の3日より5日間運休いたしました。増毛方面は15日間の運休となりました。なぜこの様に運休になったのかと申しますと、阿分の踏み切りの所で積雪が1mを超え、防風ネットが倒れ、その上に雪が積もったものから、ロータリー車がネットを巻き込んでしまい、前へ進めませんでした。この時にJR北海道では初めてだと思いますが、この線路に重機を入れて除雪を行ないました。大型ロータリー車を2台使っての開通作業でしたが、それでも2週間かかってしまうほどの大雪でした。瀬越駅まで行くのに2日間かかりましたので、皆様にも想像がつくと思います。

JRご利用の皆様にはご不便をお掛けしましたが、今後も皆様の足となるべく努力をいたしていく所存です。今後もJR北海道をよろしく願いたします。

本日はありがとうございました。



No. 2555

第39回 4月24日

●本日 来賓卓話

フタバ製麺社長 仲田 隆彦様
留萌産小麦「ルルロツソ」

パスタ試食会

会員誕生日

4月26日 齊藤 清藏

結婚記念日

4月26日 中出 敏彦

会長報告

1. 明日25日は、定例理事役員会と最後のクラブ協議会を開催いたします。6時30分開会ですので、関係者はお忘れなくお願いします。

幹事報告

- 赤平RC、芦別RC、砂川RCより5月例会案内を受領しました。
- 2013～2014年度ロータリー財団国際親善奨学生の募集要項を受領しました。
- ロータリー財団クラブ別寄付金明細書を受領しました。
- 米山記念奨学会寄付金納入明細書を受領しました。

ゲスト

(株)フタバ製麺 代表取締役社長 仲田隆彦様

3分間情報

会員研修委員会

福士委員長

本日は「未来の夢計画」の持続可能な具体的プロジェクトの例を発信します。

- 例1：井戸の設置。砂ろ過器の提供

単に井戸を設置したり、砂ろ過器を提供したりするのでは、「持続可能」になりません。浄水設備の提供に加え、「研修（メンテナンス、修理、水保全、衛生管理について）提供する。地元地域に委員会と基金を設置し、地元住民に定期的に少額料金を支払ってもらう。委員会が基金を監督し、井戸の維持と修理のために資金を使用する」などにより維持可能なプロジェクトになります。

- 例2：学校に図書を寄贈

図書寄贈のほかに、教師の追加要員を養成したり、現教員の指導力を高めるために、職業研修チームを派遣するか、現地の研修者を雇います。女子生徒が教育を受けやすいように、女性教員を動員する必要があるかどうかを判断するため、現地でニーズ調査を実施します。また、給食の導入、学校での健康診断、課外活動（設備や用具）、成人向け事業など、学校でのサービスの拡充も検討し、持続的なプロジェクトにします。

- 例3：手術、医療機器の提供プロジェクト

限られた数の人に個々の医療処置を行ったり、医療機器を1台寄贈したりするだけでは、「持続可能」にはなりません。「持続可能」にするために、「職業研修チームを派遣して、現地の医療スタッフに結核の正確な診断方法や効果的な治療方法に関する研修を提供する。設備を新しくし、現地の医療機関に研修を提供する」ことにより、病院と医療施設は地元の人々に持続可能な結核医療を提供していくことが出来ます。

以上、持続可能なプロジェクトの例を発信しました。次回はプロジェクトや活動をロータリーが提供するにあたっての一般的な指針について発信します。

【三二情報】

交際費の損金不算入制度における中小法人に係る損金算入の特例について

定額控除限度額を800万円（現行は600万円）に引き上げるとともに、定額控除限度額までの金額の損金不算入措置（現行10%）を廃止する。現在のところ適用期間未定。

ニコニコBOX

・ちょっと良い事がありました 山本会長

| | |
|-----|----------|
| 前 回 | 577,200円 |
| 今 回 | 3,000円 |
| 累 計 | 580,200円 |

プログラム

「留萌産パスタ ルルロッソ試食会」

＝留萌産パスタ好適品種小麦商品の特徴＝

- 典型的な「超強力小麦」で、国内品種の中では生パスタ適性が非常に高い品種で、小麦粉のタンパク質含量(12～13%)及びアミロース含量(24～25%)が非常に高く、超強力小麦の中でも強いタンパク質組成を持つため、生パスタ利用への適性が非常に優れています。
- 強く弾力のある特性から、生パスタへの利用が期待でき、デュラム小麦に近い適性と評価されています。
- 市販のデュラム小麦に近い硬さで、コシのある、ゆで伸びの遅いパスタが得られ、食感は通常の普通小麦では得られない物産です。
- 高品質の北海道生パスタ用として、これまでの品質との「差別化」が可能で、特定の需要が期待できます。
- 小麦本来の香りが強く、「コチコチ」とこれまでの国産小麦にはない独特の食感が発揮される「平麺・生パスタ」で商品化しました。
- この他、この小麦の特性を最大限発揮させるため、シェフ自らがこだわりの手打ちパスタを提供するレストラン等へ、小麦でも提供していきます。 製粉会社：江別製粉(株)
- 生パスタへの加工は留萌市内の(株)フタバ製麺で行なっております。



(株)フタバ製麺 留萌市栄町2丁目3番6号
Tel.0164-42-1699 代表取締役 仲田隆彦

